

朗読劇団 あめんぼ座

演出：柳沢佐和子

菊池寛 作
弁財天の使

宮部みゆき 作
庄助の夜着^{よぎ}

日本語のことばの美しさ、肉声の響きのすばらしさを
大切にし、朗読の世界をより豊かにと活動が続ける

「あめんぼ座」。

今回は、菊池寛作「新今昔物語」より『弁財天の使』、
宮部みゆき作「幻色江戸ごよみ」より『庄助の夜着』を
朗読劇で上演します。

2026年
3月14日(土)
14:00開演 (13:30開場)

会場：ラスタホール
(伊丹市立生涯学習センター)
2階 多目的ホール

チケット <全席自由>

一般：1,500円(税込)

障がい者・高校生以下：1,400円(税込)

※当日券は各100円増

チケット発売：1月19日(月) 9:00より

※窓口販売・電話予約



出演者

菊池寛

「弁財天の使」

鬼頭寿美子

山本郁美

当麻美規子

宮部みゆき

「庄助の夜着」

柏原圭子

西野孝子

南数美

川口雅子

真木美佐緒

ラストホール公演に寄せて

今回は江戸物二編をお送りします。
一つめは、菊池寛作「弁財天の使」。
加賀藩に出入りを許された豪商、住吉屋藤兵衛は弁財天の大変な信者で、上野の不忍池の整備のための池涸いの決定に心を痛めていた。そんなある夜、弁財天女の使いと言う美しい女が訪れ、天女様からの伝言を伝えて帰っていった。藤兵衛は有頂天になり、その約束を守るのだが…。信心深い彼の身に起こった皮肉な出来事とは。
二つめは、宮部みゆき作「庄助の夜着」。庄助は五郎兵衛の営む居酒屋で働く無口で素朴な男だ。ある夏、古着屋で買った夜着（今の掛け布団）のことを嬉しげに話していた。五郎兵衛は娘のおゆうの嫁入りを間近に控え、幸せを噛みしめていた。そんな時、庄助の様子がおかしいことに気づく。心優しい五郎兵衛は心配するが庄助はなかなか打ち明けてくれない。優しさと思いやりと不思議さが残る宮部みゆきの世界。この二作品をシンプルな朗読劇でお聞かせしたいと思っています。
どうぞお楽しみに…。

朗読劇団あめんぼ座

柳沢佐和子

あめんぼ座とは

一九七三年、西垣瑩子とその仲間によって創立された日本初の朗読劇団。以来、朗読の様々な表現を模索し、多彩な舞台活動を展開、「朗読劇」といわれるジャンルを開拓してきた。十周年公演『与謝野晶子・永遠なる七五調』で大阪府民劇場奨励賞を受賞、十五周年公演『山椒太夫』で地方文化振興に貢献したとして大阪府知事より表彰を受ける。常に幅広いジャンルの作品に挑戦しつづけ、二〇二三年には創立五〇周年記念公演を上演。
ラストホールでの公演は二〇〇七年の初公演から今回で十五回目。またラストホールでは朗読劇の公演の他、朗読ワークショップや楽しい朗読など、市民向け講座の講師として劇団メンバーが活躍している。

お申込み・お問合せ



ラストホール(伊丹市立生涯学習センター) TEL 072-781-8877

休館日: 火曜休館(火曜祝休日の場合は翌平日休館)、

年末年始(12/29~1/3) <https://www.lustrehall.com>



@lustrehall

★前売券完売の場合、当日券の販売はいたしません。

★お子様の鑑賞、車いすをご利用の方はお問合せください。

★障がい者・高校生以下のチケットを購入の際は、障がい者手帳や年齢が確認できるものをご提示ください。

※天災等により、日程変更または中止となる場合がございます。

※体調不良の場合は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。

主催:公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / ラストホール 伊丹市教育委員会

